

2025 年度版
(令和 7 年 4 月 1 日改正)

移住・就業支援金の御案内

【令和 7 (2025) 年 4 月 1 日以降に移住した方】

令和 7 年 4 月
磐田市企画部政策推進課

目 次

	頁
1 移住元要件	1
2 移住先要件	4
3 支援金の額	9
4 申請書類	10
5 交付の条件	15
6 支援金の返還	15
7 申請の期限	16
8 問い合わせ先、申請書の提出先・提出方法	17
(参考) 申請書の記入例	18

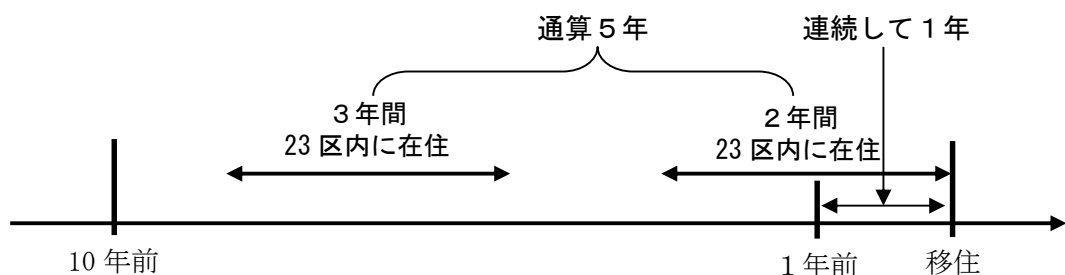
申請時において、次の「1 移住元要件」と「2 移住先要件」の両方を満たす方が移住・就業支援金（以下「支援金」といいます。）の対象となります

1 移住元要件

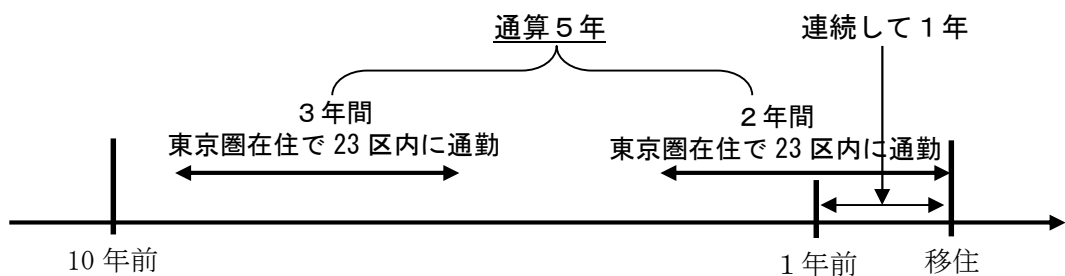
次の（1）と（2）の両方を満たす方

（1） 次のア、イのいずれかに該当

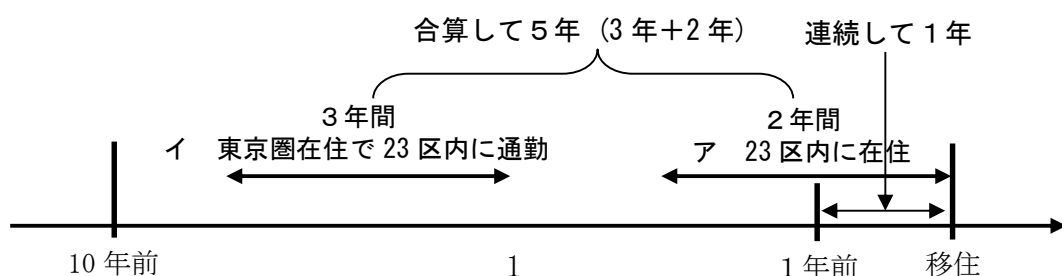
ア 磐田市へ移住※1する直前の10年間のうち通算5年以上 かつ 移住する直前に連続して1年以上、「東京23区内に在住していたこと」



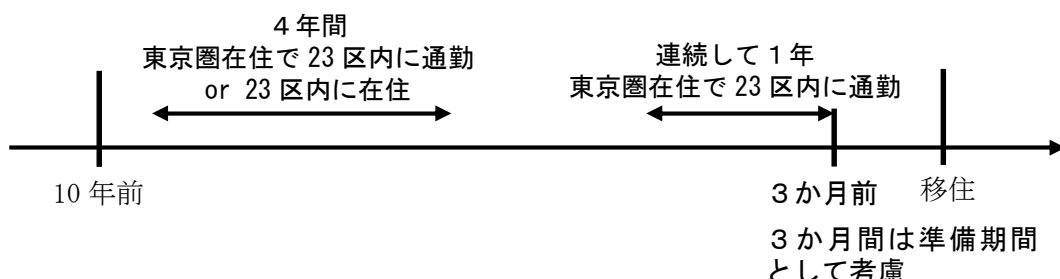
イ 磐田市へ移住する直前の10年間のうち通算5年以上 かつ 移住する直前に連続して1年以上、「東京23区以外の東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）のうちの条件不利地域※2以外の地域に在住し、東京23区内の法人等への通勤※3をしていたこと」



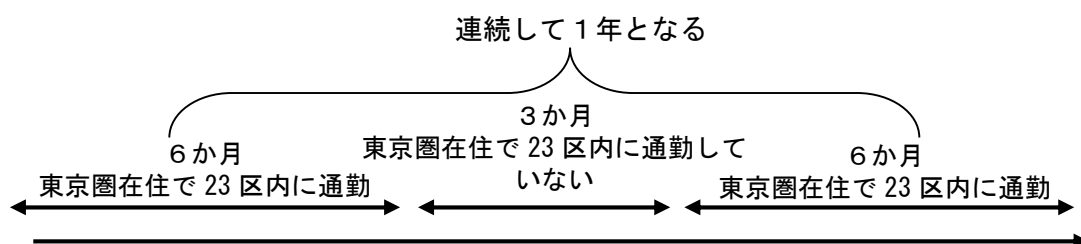
（注1）「ア 東京23区内に在住していたこと」と「イ 東京23区以外の東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内の法人等への通勤をしていたこと」を合算して、「移住する直前の10年間のうち通算5年以上 かつ 移住する直前に連続して1年以上」を満たしても対象となります。



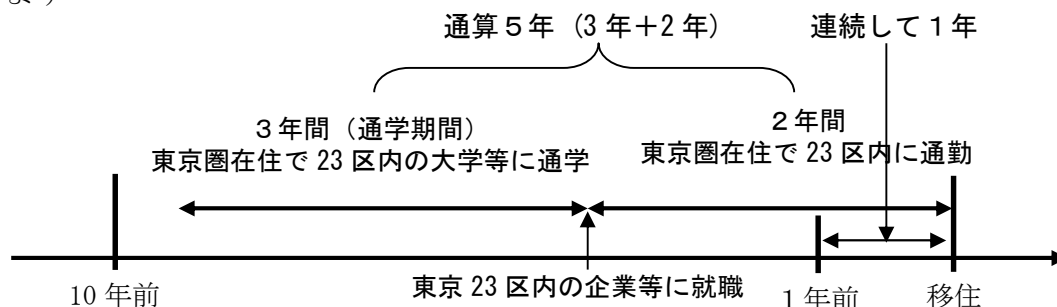
(注2) 「移住する直前に連続して1年以上、東京23区以外の東京圏に在住し、東京23区内の法人等への通勤」の「1年以上」の期間については、移住する3か月前までを起算点とすることができます。(ただし、3か月の期間中に東京圏(条件不利地域を除く)から転出している場合は対象外となります。)



(注3) 「移住する直前に連続して1年以上、東京23区以外の東京圏に在住し、東京23区内の法人等への通勤」の「連続して」の「通勤」については、3か月以内の通勤していない期間であれば、連続しての通勤として取り扱います。



(注4) 東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住しつつ、東京23区内の大学等へ通学し、東京23区内の企業等へ就職した方については、通学期間を修業年限を上限(ただし、高等専門学校は2年を上限)として対象期間として加算できます



※1 「移住」とは、住民票を磐田市に異動し、生活の本拠を磐田市へ移すことをいいます。また、移住する直前とは移住先の住民票記載の「転入日」を指します。

※2 「東京圏のうちの条件不利地域」とは、以下のとおりです。

東京都：檜原村、奥多摩町、大島町、利島村、新島村、神津島村、
三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村

埼玉県：秩父市、飯能市、本庄市、越生町、小川町、川島町、吉見町、
鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町、
東秩父村、神川町

千葉県：銚子市、館山市、旭市、勝浦市、鴨川市、富津市、いすみ市、
南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、栄町、多古町、東庄町、
九十九里町、芝山町、横芝光町、白子町、長柄町、長南町、
大多喜町、御宿町、鋸南町

神奈川県：三浦市、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村

※3 雇用者としての通勤の場合は、雇用保険の被保険者としての通勤に限ります（公務員としての通勤の場合は、雇用保険の被保険者ではありませんが、対象とすることができます）。

（2） 次のア～オの全てに該当

ア 暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する者でないこと。

イ 日本人である、又は外国人であつて、出入国管理及び難民認定法に定める「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「定住者」、「特別永住者」のいずれかの在留資格を有すること。

ウ 申請者は（世帯向けの金額を申請する場合は、申請者を含む世帯員のいずれも）、過去 10 年以内に申請者を含む世帯員として、新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金（移住・起業・就業型））又はその前歴事業を活用した移住支援金（以下「移住支援金」という。）を受給していないこと。ただし、移住支援金を全額返還した場合や過去の申請時に 18 歳未満の世帯員だった者が、5 年以上経過し、18 歳以上となり、磐田市が認める場合を除く。

エ 移住する直前に在住していた市区町村において、最近 1 か年市区町村税を滞納していないこと。

オ その他市長が不相当と認めた者でないこと。

2 移住先要件

次の(1)～(5)のいずれかに該当する方

- (1) 『①の要件を満たす移住、かつ、②の要件を満たす就業』
- (2) 『①の要件を満たす移住、かつ、③の要件を満たす就業』
- (3) 『①の要件を満たす移住、かつ、④の要件を満たすテレワーク』
- (4) 『①の要件を満たす移住、かつ、⑤の要件を満たす関係人口』
- (5) 『①の要件を満たす移住、かつ、⑥の要件を満たす起業』

① 移住に関する要件

次のア、イの両方に該当する必要があります。

ア 支援金の申請時において、移住後1年以内であること。

イ 磐田市に、支援金の申請日から5年以上、継続して居住する意思を有していること。

② 就業に関する要件（一般の場合）

次のア～キの全てに該当する必要があります。

- ア 勤務地が東京圏以外の地域又は東京圏内の条件不利地域に所在すること。
- イ 都道府県のマッチングサイト※4に掲載されている支援金対象求人に就業すること。
- ウ 週 20 時間以上の無期雇用契約に基づいて中小企業等に就業し、かつ、申請時において、当該中小企業等に就業していること。
- エ マッチングサイトに上記イの求人が支援金の対象として掲載された日以降に同求人への応募をした※6こと。
- オ 就業した当該中小企業等に、支援金の申請日から5年以上、継続して勤務する意思を有していること。
- カ 転勤、出向、出張、研修等による勤務地の変更ではなく、新規の雇用であること。

※4 「マッチングサイト」とは、静岡県が東京圏の求職者と本県の中小企業等のマッチングを図るためのサイト「しずおか就職 net」や、その他の都道府県が同様の目的で開設するサイトをいいます。

しずおか就職 net 内 静岡県移住・就業支援金求人サイト
(<https://shizuoka-job.jp/>)

※5 「経営を担う職務」とは、以下をいいます。

- 会社（株式会社、合名会社、合資会社、合同会社）
取締役、会計参与、監査役
- 社会福祉法人
理事、監事、評議員、会計監査人
- 医療法人、NPO 法人
理事、監事

※6 「応募をした」とは、採用面接の申込みを行ったことをいいます。

③ 就業に関する要件（専門人材の場合）

プロフェッショナル人材事業※7又は先導的人材マッチング事業※8を利用して※9令和3年3月1日以降に就業し、次のア～オの全てに該当

- ア 勤務地が東京圏以外の地域又は東京圏内の条件不利地域に所在すること。
- イ 週 20 時間以上の無期雇用契約に基づいて就業し、申請時において、就業していること。
- ウ 当該就業先において、移住支援金の申請日から5年以上、継続して勤務する意思を有していること。
- エ 転勤、出向、出張、研修等による勤務地の変更ではなく、新規の雇用であること。
- オ 目的達成後の解散を前提とした個別プロジェクトへの参加等、離職することが前提でないこと。

※7 「プロフェッショナル人材事業」とは、各道府県に設置するプロフェッショナル人材戦略拠点が、地域企業と対話を重ね、「攻めの経営」への転進を促すとともに、人材のニーズを具体化し、職業紹介事業者等を介して、プロフェッショナル人材をマッチングする事業です。

※8 「先導的人材マッチング事業」とは、内閣府地方創生推進室が実施する事業で、地域金融機関等が地域企業の人材ニーズを調査・分析し、職業紹介事業者等と連携するなどしてハイレベルな経営人材等のマッチングを行う取組に対して支援を行うものです。

※9 プロフェッショナル人材事業又は先導的人材マッチング事業の利用の有無については、就業先の企業へお問い合わせください。

④ テレワークに関する要件

次のア～ウの両方に該当する必要があります。

- ア 所属先企業等からの命令でなく、自己の意思により住民票を磐田市に異動した場合であって、磐田市を生活の本拠とし、移住元での業務を引き続き行うこと。
- イ 移住先でテレワークにより勤務する（原則、通勤しない）こととし、かつ週 20 時間以上テレワークを実施すること。
- ウ デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ（地方創生テレワーク型））又はその前歴事業を活用した取組の中で、所属先企業等から資金提供されていないこと。

※法人経営者や個人事業主の方は、担当課に個別に御相談ください。

⑤ 関係人口に関する要件

磐田市が本事業で関係人口※10と認める者は、下記ア及びイのいずれにも該当する必要があります。

ア 支給対象者の要件 次に掲げる事項にいずれかに該当する者

(ア) 移住する直前の3年間に磐田市が市内で開催する企業見学会※11に参加したことがある者。

(イ) 移住する直前の3年間に市内企業で就労体験※12をしたことがある者。

(ウ) 過去に通算1年以上磐田市に住民登録がある者。

(エ) 移住する直前の5年間に磐田市主催の移住体験ツアーに参加したことがある者。

(オ) 静岡県西部地域で活動する又は本市と連携協定を締結し、地域のスポーツ振興に寄与しているチーム※13のファンクラブ等に加入している者

イ 地域の担い手確保の要件 次に掲げる事項にいずれかに該当する者

(ア) 県内中小企業※14に就業※15した者

(イ) 農林水産業※16に就業した者

(ウ) 家業※17に就業した者

(エ) 事業を承継し就業した者

(オ) 地域公共交通※18の確保に係る事業所に就業した者

※10 「関係人口」とは、磐田市や地域の人々と関わりを有する者のうち、磐田市が当該移住希望者を個別に本事業における関係人口と認める者を指します。

※11 「企業見学会」とは、磐田市が市内で開催するものでかつ市内企業への訪問を伴うものを指します。

※12 「就労体験」とは、市内に事業所を有する企業において、当該企業についての理解を深めるため、無償で就労する体験を指します。

※13 「静岡県西部地域で活動する又は本市と連携協定を締結し、地域のスポーツ振興に寄与しているチーム」とは、以下を想定しています。

- ジュビロ磐田（サッカー）
- 静岡SSUボニータ（サッカー）
- 静岡ブルーレヴズ（ラグビー）
- アザレアセブン（ラグビー）
- ブレス浜松（バレーボール）
- くふうはやてベンチャーズ静岡（野球）
- 三遠ネオフェニックス（バスケットボール）

※14 「県内中小企業」とは、次の条件を全て満たす企業を指します。

- 静岡県内に事業所を有すること
- 官公庁等でないこと
- 資本金 10 億円以上の法人でないこと
- みなし大企業でないこと
- 本社所在地が東京圏以外の地域又は条件不利地域にある法人であること
- 雇用保険の適用事業主であること
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に定める風俗営業者でないこと
- 暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する法人でないこと

※15 「就業」とは、次の条件を全て満たすものを指します。

- 勤務地が静岡県内に所在すること
- 週 20 時間以上の無期雇用契約に基づいて当該企業に就職していること、又は個人事業主として開業していること
- 当該企業での就労開始年月日または個人事業主としての開業日が、磐田市へ移住した日以降であること
- 転勤、出向、出張及び研修等による勤務地の変更ではなく、新規の雇用であること

※16 「農林水産業」とは、農作物を栽培・収穫する農業、木材などを産出する林業、魚介類を捕獲する漁業、魚介類を加工する水産加工業を指します。(個人経営・法人への就業は問いません)

※17 「家業」とは、三親等以内の親族が経営する法人へ就業することを指します。

※18 「地域公共交通」とは、路線バスやタクシー、鉄道など、地域住民の日常生活若しくは社会生活における移動又は観光旅客その他の当該地域を来訪する者の移動のための交通手段として利用される公共交通機関のことを指します。

⑥ 起業に関する要件

静岡県が実施する地域創生起業支援事業に係る起業支援金の交付決定を1年以内に受けていること(起業支援金の詳細については、起業支援金事務局「(公財)静岡県産業振興財団 054-254-4511」へお問い合わせください。)

3 支援金の額

支援金の額は次のとおりです。

区分	支援金の額
単身での移住の場合	60万円
2人以上の世帯※19での移住の場合	100万円 ※1世帯当たり400万円を上限とする。
18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合※20	18歳未満の者一人につき100万円を加算

※19 2人以上の世帯については、次のア～エの全てに該当する世帯に限ります。

- ア 申請者を含む2人以上の世帯員が移住する前の在住地において、同一世帯に属していたこと。
- イ 申請者を含む2人以上の世帯員が申請時において、同一世帯に属していること。
- ウ 申請者を含む2人以上の世帯員がいずれも、申請時において、移住後1年以内であること。
- エ 申請者を含む2人以上の世帯員がいずれも、暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する者でないこと。

※20 18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合の加算

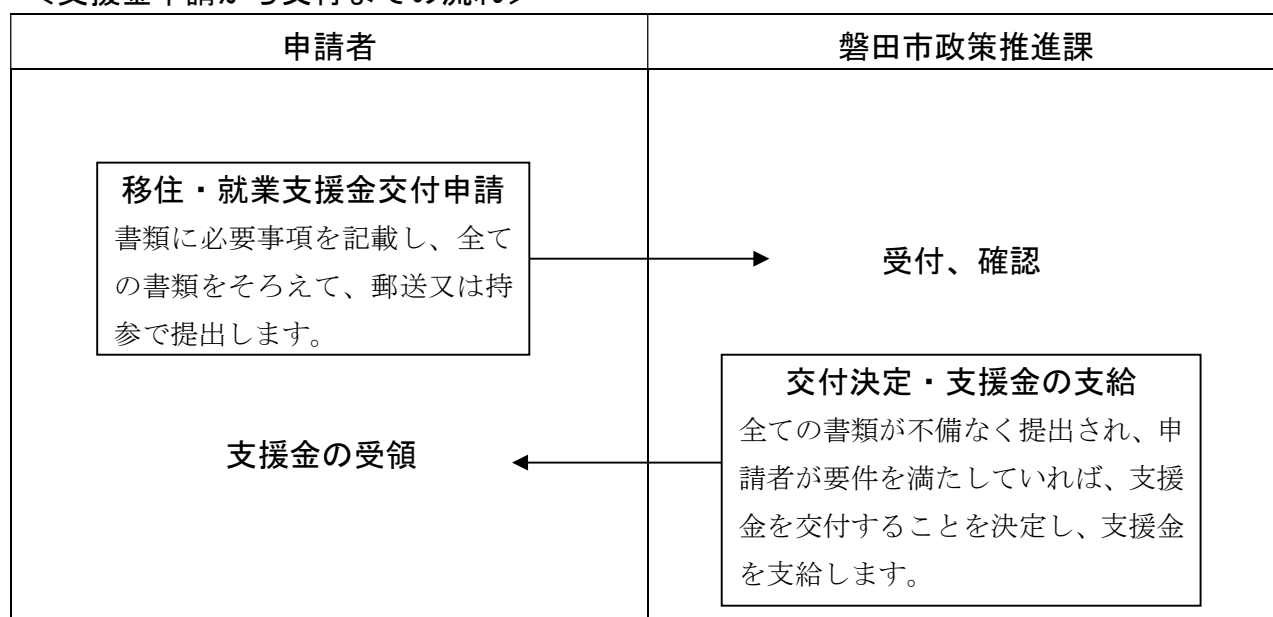
- ・18歳未満の世帯員とは、申請年度の4月1日時点において18歳未満の世帯員をいいます（ただし、申請年度の4月2日が18歳の誕生日の場合は対象）。
- ・18歳未満の世帯員は、原則としてどのような続柄であっても対象となりますが、申請者からみて18歳未満の世帯員が配偶者である場合は対象となりません。

4 申請書類

支援金の申請に当たっては、次の書類を提出してください。

区分	申請書類チェック欄
(1) 全員が提出必須の書類	11ページ
(2) 東京圏に在住し、23区内の法人等への通勤していた方のみ	13ページ
(3) 東京圏に在住し、23区内に通勤していた法人経営者又は個人事業主の方のみ	13ページ
(4) 東京圏から23区内の大学に通学し、23区内の企業等へ就職した方のみ (通学期間も移住元としての対象期間に含める場合のみ)	13ページ
(5) テレワークに関する要件に該当する法人経営者又は個人事業主の方のみ	14ページ

<支援金申請から交付までの流れ>



※支援金の申請は同一世帯で1回限りとなります。ただし、支援金を全額返還した場合又は、過去の申請時に18歳未満の世帯員だった者が5年以上経過し18歳以上となった場合で、市長が特に認める場合を除く。

(1) 全員が提出必須の書類

- 移住・就業支援金交付申請書（様式第1号）
- 移住・就業支援金の交付申請に関する誓約書兼同意書（様式第1号の2）
- 口座振込依頼書
- 写真付き身分証明書のコピー
例：運転免許証、個人番号カード、パスポート等のコピー
- 住民票
※世帯向けの金額を申請する場合は申請者を含む世帯員全員分
※発行後3か月以内のものに限ります。
- 移住元での住民票の除票（又は、戸籍の附票）
※世帯向けの金額を申請する場合は申請者を含む世帯員全員分
※住民票の除票の場合は、世帯主・続柄が記載されているもの
- 移住元での市区町村における最近1か年の滞納のないことを証する市区町村税の完納証明書等
※完納証明書を発行していない市区町村においては、移住時点で発行が可能な最近1か年の市区町村税の納税証明書等
※転入時期によっては2年度分の証明書を提出していただく場合があります。

<以下は移住先の形態等で該当するものを提出>

① 就業の場合

- 就業証明書（様式第2号）

② テレワークの場合

- 就業証明書（様式第2号の2、又は、様式第2号の3）

③ 関係人口の場合

ア 支給対象の要件

(ア) 市内で開催する企業見学会に参加した者

- 同意書【企業見学会】

(イ) 市内企業の就労体験した者

- 就労体験証明書（様式第2号の4）

※就業先で記載してもらってください。

(ウ) 過去に通算1年以上磐田市に住民登録がある者

- 戸籍の附票等

※磐田市に住民登録がある期間全てがわかるものを添付してください。

(エ) 移住する直前の5年間に磐田市主催の移住体験ツアーに参加したことがある者

※参加記録は市で確認できるため、提出いただく書類はありません。

(オ) 地域のスポーツ振興に寄与しているチームのファンクラブ等に加入している者

会員証のコピー

※チーム名、加入者名が確認できるものを添付してください。

※スクリーンショットでも可能です。

イ 地域の担い手確保の要件

(ア) 県内中小企業に就業した者

就業証明書（様式第2号）

※就業先で記載してもらってください。

中小企業要件確認書（様式第2号の3）

※就業先で記載してもらってください。

(イ) 農林水産業に就業した者

【法人へ就業する場合】

就業証明書（様式第2号）

※就業先で記載してもらってください。

【農地を相続又は新たに取得借受して個人事業主として就業する場合】

開業届出済証明書の写し

農家証明書の写し

農作物等の販売を証明できるものの写し（販売伝票など）

【漁業に就業する場合】

漁業協同組合の組合員であることが証明できる書類

※就業証明書（様式第2号）を代用していただいても構いません。

※組合員に弟子入りして就業する場合は、別途ご相談ください。

(ウ) 家業に就業した場合

就業証明書（様式第2号）

※就業先で記載してもらってください。

(エ) 事業を承継し就業した者

【法人を承継し代表者として就業する場合】

履歴事項全部証明書の写し

※就業先で記載してもらってください。

【個人事業主の事業を継承し個人事業主として就業する場合】

開業届出済証明書の写し

業務の取引・受発注に係る契約書等の写し

(オ) 地域公共交通の確保に係る事業所に就業した者

就業証明書（様式第2号）

※就業先で記載してもらってください。

④ 起業の場合

起業支援金の交付決定通知書のコピー

(2) 東京圏に在住し、23区内の法人等への通勤していた方のみ

就業証明書【23区内への通勤者用】

雇用保険被保険者資格取得届出確認照会回答書

※移住元での在勤地、在勤期間、及び雇用保険の被保険者であったことを証明できる書類であれば代用可能です。

(3) 東京圏に在住し、23区内に通勤していた法人経営者又は個人事業主であった方のみ

移住元での在勤地、在勤期間を確認できる書類

例：開業届出済証明書、納税証明書、事業に伴う契約書、在勤地の不動産に係る賃貸借契約書等

(4) 東京圏から23区内の大学に通学し、23区内の企業等へ就職した方のみ

(注) 通学期間を移住元としての対象期間に含める場合のみ

在学期間や卒業校を確認できる書類 例：卒業証明書、成績証明書等

就業証明書【23区内への通勤者用】

雇用保険被保険者資格取得届出確認照会回答書

※移住元での在勤地、在勤期間、及び雇用保険の被保険者であったことを証明できる書類であれば代用可能です。

(5) テレワークに関する要件に該当する法人経営者又は個人事業主の方のみ

- (法人経営者の方のみ) 履歴事項全部証明書の写し
※発行後3か月以内のものに限ります
- (個人事業主の方のみ) 開業届出済証明書の写し
※発行後3か月以内のものに限ります
- (個人事業主の方のみ) 個人事業の開業・廃業等届出書の写し
※開業時に税務署に提出した届出の写しと、移転時に県に提出した届出の写し(受付印が支援金申請日の前3か月以内のもの)
- 事業に係る納税証明書
- 移住元で行っていた業務を移住後も継続していることを確認できる書類
例: 業務の取引に係る契約書、注文書(発注書)、注文請書(受注書)等
※移住前から申請時点まで同様の業務を行っていることが契約期間等により確認できるものとします

5 交付の条件

次の（１）と（２）は、交付を決定する際の条件となります。

- （１） 支援金の申請日から５年以内に磐田市での居住が困難となった場合は、速やかに磐田市に報告してその指示を受けること。
- （２） 支援金の申請日から１年以内に支援金の要件を満たす移住先での中小企業等に在職することが困難となった場合においては、速やかに磐田市に報告してその指示を受けること。
- （３） 支援金に関する報告及び立入調査について、静岡県及び磐田市から求められた場合には、それに応じること。

6 支援金の返還

次の区分のいずれかに該当する場合は、支援金の全額又は半額を返還していただきます（ただし、雇用企業の倒産、災害、病気等のやむを得ない事情があるものとして市町長が認めた場合は対象外となる場合があります）。

- （１） 全額の返還
 - ア 虚偽の申請等をした場合
 - イ 支援金の申請日から３年未満に磐田市から転出した場合
 - ウ 支援金の申請日から１年以内に支援金の要件を満たす移住先での職を辞した場合
 - エ 起業支援金の交付決定を取り消された場合
- （２） 半額の返還
 - 支援金の申請日から３年以上５年以内に磐田市から転出した場合

7 申請の期限

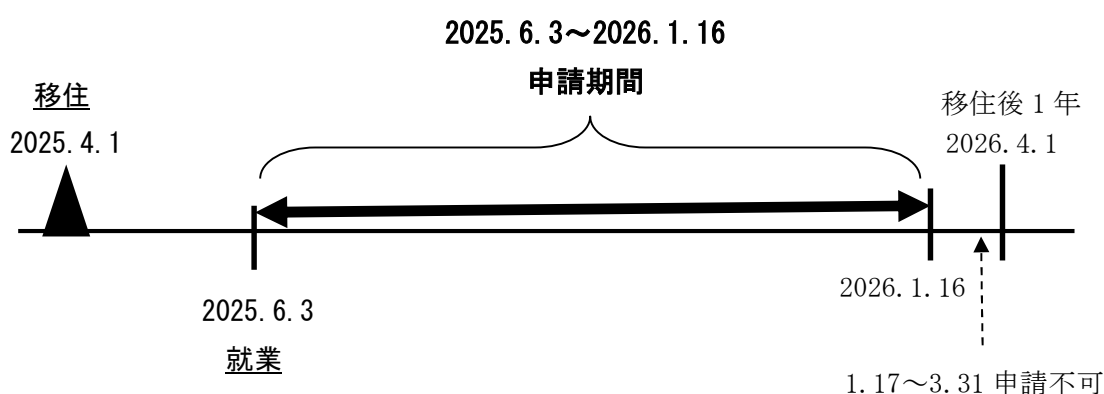
2026年(令和8年)1月16日(金)までに申請してください。

※ただし、予算の状況によっては期限を変更する可能性がありますので、申請要件を満たしている場合は、なるべく早めに窓口にご相談の上、申請してください。

<申請期間>

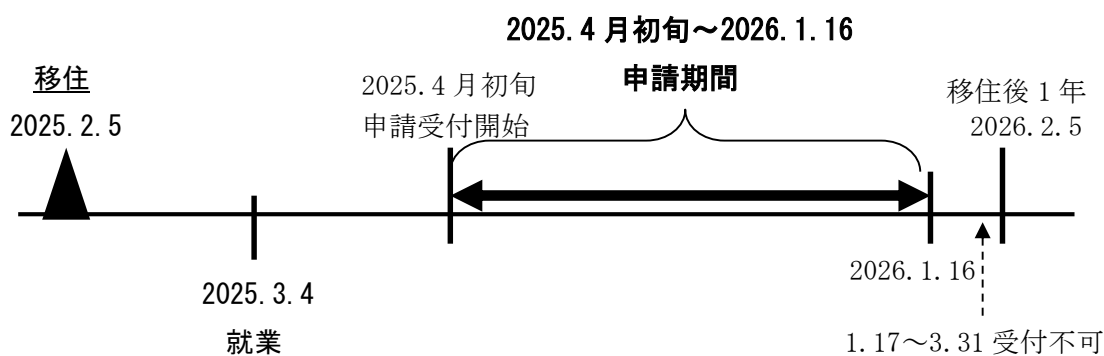
○パターン1

2025年4月1日に移住し、同年6月3日に対象企業に就業した場合



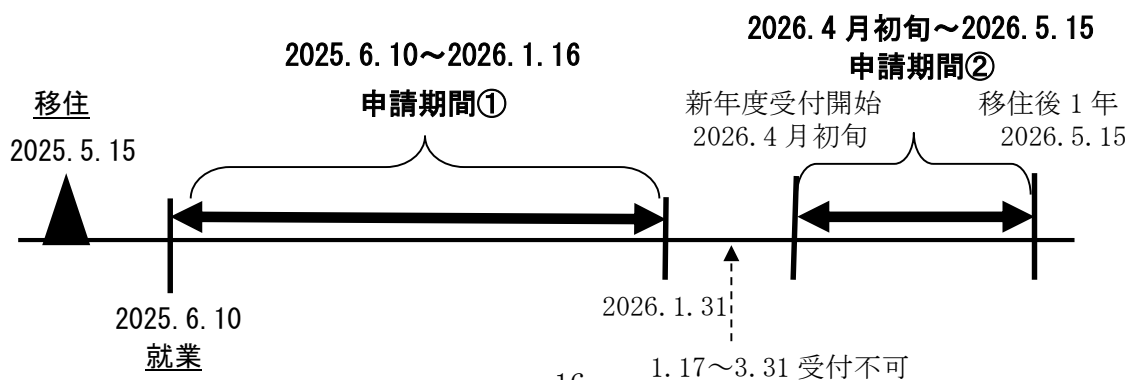
○パターン2

2025年2月5日に移住し、同年3月4日に対象企業に就業した場合



○パターン3

2025年5月15日に移住し、同年6月10日に対象企業に就業した場合



8 問い合わせ先、申請書の提出先・提出方法

(1) 問い合わせ先、申請書の提出先

磐田市役所 政策推進課

〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1 磐田市役所本庁舎4階

電話番号 0538-37-4805

F A X 0538-36-8954

E-Mail kikaku@city.iwata.lg.jp

(2) 提出方法

申請先へ直接提出又は郵送

※ FAXやE-Mailでの提出は不可

※ 郵送の場合は提出書類に不備がなかった場合のみ受付します。

様式第1号（第5条関係）

移住・就業支援金交付申請書

〇〇年〇月〇日

磐田市長 様

署名（自署）又は記名押印。
記名押印の場合は、ゴム印
（シャチハタ等）不可

磐田市移住・就業支援金交付要綱に基づき、支援金の交付を受けたいので、次のとおり関係書類を添えて申請します。

1 申請者欄

フリガナ	イワタ タロウ		生年月日
氏名	磐田 太郎		西暦1977年7月〇日
住所	〒438-8650 磐田市国府台3番地1	電話番号	054-221-〇〇〇〇
メールアドレス	iju@pref.shizuoka.lg.jp		

2 支援金の内容（該当する欄に○を付けてください）

単身・世帯	単身	<input type="radio"/>	世帯	<input type="radio"/>	世帯の場合は同時に移住した家族の人数（1の申請者は含まない）	3人	
					上記家族の人数のうち18歳未満の者の人数	1人	
支援金の種類	就業	<input type="radio"/>	起業	<input type="radio"/>	テレワーク	専門人材	関係人口

3 各種確認事項（該当する欄に○を付けてください）

申請日から5年以上継続して、磐田市に居住する意思について	<input type="radio"/>	A. 意思がある。	B. 意思がない。
過去10年以内の申請者を含む世帯員に係る本支援金の受給状況	<input type="radio"/>	A. 受給していない。	B. 受給している。
（申請者及び世帯員の受給歴がある場合のみ記載） 受給した支援金を全額返還し、又は、過去申請時に18歳未満の世帯員が5年以上経過し、18歳以上となり、申請している。		A. 該当する	B. 該当しない
（就業、起業の場合のみ記載） 申請日から5年以上継続して、	<input type="radio"/>	A. 意思がある。	B. 意思がない。

就業・起業する意思について			
(テレワークの場合のみ記載) 磐田市への移住の意思について	○	A. 自己の意思である。	B. 所属からの命令である。
(テレワークの場合のみ記載) 移住先でテレワーク（原則、通勤しない）により勤務している。	○	A. 勤務している。	B. 勤務していない。

4 移住元の住所

(注) 移住元要件を満たす5年以上の在住履歴を記載

期 間	住 所
2017年4月2日 ～2022年4月10日	〒1××-×××× 東京都○×市△□××○号
2022年4月10日 ～2025年8月9日	〒1□×-×××× 東京都○○市△△××○号
	〒
	〒
	〒

5 (東京特別区の在勤者に該当する場合のみ記載) 東京特別区への在勤履歴

(注) 5年以上の在勤履歴を記載

期 間	就業先	就業先の住所
2017年4月1日 ～2025年7月31日	○○△株式会社	東京都△△区××

6 (東京特別区の大学等への通学期間を移住元として対象期間とする場合のみ記載)

東京特別区への通学履歴

期 間	通学先	通学先の住所
2020年4月1日 ～2024年3月31日	○○大学△△学部	東京都△△区××

7 (テレワークによる移住者のみ記載) 移住後の生活状況

勤務先部署	株式会社〇△ ××事業部 △課
勤務先住所	〒1□×-×××× 東京都〇〇市△△××〇号
勤務先へ行く頻度	週 ・月・年 1回程度 ／行くことはない。／ その他()
テレワークでの勤務時間	1週間あたり 28時間

8 関係人口に関する要件 (該当する場合のみ記載)

(1) 企業見学会参加

参加日	参加イベント名
2020年 10月 1日	〇〇セミナー

(2) 就労体験実施

就労体験日	就労先企業名
2020年 7月 1日 ~ 2020年 7月14日	株式会社〇△□

(3) 磐田市に住民登録あり

居住期間	居住場所
2000年 4月 1日 ~ 2001年 5月31日	磐田市国府台3-1

(4) 移住体験ツアー参加

参加日	参加ツアー名
2024年 11月 9日	ジュビロ磐田と連携した移住体験ツアー

(5) 加入しているファンクラブ等

加入日	チーム名
2024年 1月 1日	ジュビロ磐田

管理コード (磐田市使用欄)	
----------------	--

様式第1号の2（第5条関係）

移住・就業支援金の交付申請に関する誓約書兼同意書

移住・就業支援金の交付申請に当たり、次のとおり誓約し、及び同意します。

1 誓約事項

- (1) 支援金に関する報告及び立入調査について、静岡県及び磐田市から求められた場合には、それに応じます。
- (2) 以下の場合には、磐田市移住・就業支援金交付要綱に基づき、支援金の全額又は半額を返還します。
 - ア 支援金の申請に当たって、虚偽の内容を申請したことが判明した場合：全額
 - イ 支援金の申請日から3年未満に磐田市以外の市区町村に転出した場合：全額
 - ウ 支援金の申請日から1年以内に第3条第2号を満たす職を辞した場合：全額
 - エ 起業支援金の交付決定を取り消された場合：全額
 - オ 支援金の申請日から3年以上5年以内に磐田市以外の市町に転出した場合：半額

2 同意事項

- (1) 上記1(2)の誓約事項が遵守されているか確認するために、市町が住民基本台帳に記録されている事項を閲覧することに同意します。
- (2) 静岡県及び磐田市が、当該個人情報について、他の都道府県において実施する移住・就業支援金に係る事業の円滑な実施、国への実施状況の報告等のため、国、他の都道府県、他の市区町村に提供し、又は確認することに同意します。

〇〇年〇月〇日

〇〇市長 様

住所 磐田市国府台3番地1

申請者

氏名 磐田 太郎

署名（自署）又は記名押印。
記名押印の場合は、ゴム印
（シャチハタ等）不可

様式第2号（第5条関係）

就業証明書（移住・就業支援金の申請用）

署名（自署）又は記名押印。
記名押印の場合は、ゴム印
（シャチハタ等）不可

〇〇年〇月〇日

磐田市長 様

所在地 静岡市葵区〇〇△番×号
事業所名 〇〇〇株式会社
代表者名 〇〇 〇〇
電話番号 054-221-〇〇〇〇
担当者 〇〇 〇〇

下記のとおり相違ないことを証明します。

勤務者名	磐田 太郎
勤務者住所	磐田市国府台3番地1
勤務先所在地	静岡市葵区〇〇△番×号
勤務先電話番号	054-221-〇〇〇〇
就業年月日	〇年8月19日
応募受付年月日	〇年7月10日 ←採用面接の申込みを行った日を記載
雇用形態	■週20時間以上の無期雇用
※プロフェッショナル人材事業又は先導的人材マッチング事業を利用している場合のみ	<p>■目的達成後に離職することが前提ではない。</p> <p>利用した事業名</p> <p>■ プロフェッショナル人材事業</p> <p>□ 先導的人材マッチング事業</p>

備考 移住・就業支援金に関する事務補助金の交付申請及び補助金交付後の定住・就業継続の確認に関する事務のため、勤務者の勤務状況などの情報を、静岡県及び磐田市の求めに応じて、同県及び同市町に提供することについて、勤務者の同意を得ています。

記入例

様式第2号の2（第5条関係）

就業証明書（移住・就業支援金の申請用）
（テレワークの場合）

磐田市長 様

署名（自署）又は記名押印。
記名押印の場合は、ゴム印
（シャチハタ等）不可

〇〇年 〇月 〇日

所在地 東京都〇〇市△△××〇号
事業所名 株式会社〇〇
代表者名 〇〇 〇〇
電話番号 03-△△△△-△△△△
担当者 〇〇 〇〇

次のとおり相違ないことを証明します。

勤務者名	磐田 太郎
勤務者住所 （移住前）	東京都〇〇区△△
勤務者住所 （移住後）	磐田市国府台3番地1
勤務先部署の所在地	〒1□×-×××× 東京都〇〇市△△××〇号
勤務先電話番号	03-△△△△-△△△△
移住の意思	■所属先企業等からの命令（転勤、出向、出張、研修等含む）ではない。
勤務形態	■原則、通勤せず、週20時間以上テレワークにより業務を実施している。
その他	■勤務者にデジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ（地方創生テレワーク型））又はその前歴事業による資金提供をしていない

備考 移住・就業支援金に関する事務補助金の交付申請及び補助金交付後の定住・就業継続の確認に関する事務のため、勤務者の勤務状況などの情報を、静岡県及び磐田市の求めに応じて、同県及び同市町に提供することについて、勤務者の同意を得ています。

記入例

様式第2号の3（第5条関係）

※個人事業主・フリーランスの方向け

就業時間の証明書（移住・就業支援金（テレワーク）の申請用）

〇〇市町長 様

署名（自署）又は記名押印。
記名押印の場合は、ゴム印
（シャチハタ等）不可

〇〇年 〇月 〇日

所在地 静岡県〇〇市△△××〇号
事業所名 株式会社〇〇
代表者名 〇〇 〇〇
電話番号 △△△-△△△△-△△△△
担当者 〇〇 〇〇

下記のとおり相違ないことを証明します。

就労開始日	〇年 8月 19日				
就労時間 (固定就労の場合)	合計時間	<input type="checkbox"/> 月間	<input type="checkbox"/> 週間	時間 (うち休憩時間 分)	
	就労日数	<input type="checkbox"/> 月間	<input type="checkbox"/> 週間	日	
	平日	時 分	～	時 分	(うち休憩時間 分)
	土曜	時 分	～	時 分	(うち休憩時間 分)
日祝	時 分	～	時 分	(うち休憩時間 分)	
就労時間 (変則就労の場合)	合計時間	<input type="checkbox"/> 月間	<input checked="" type="checkbox"/> 週間	45 時間 (うち休憩時間 300分)	
	就労日数	<input type="checkbox"/> 月間	<input checked="" type="checkbox"/> 週間	5 日	
	主な就労時間帯	9時 00分 ～ 18時 00分 (うち休憩時間 60分)			
就労実績 (直近3カ月)	〇年 5月 20 日/月 180 時間/月	〇年 6月 22 日/月 198 時間/月	〇年 7月 21 日/月 189 時間/月		
特記事項 (備考)					

様式第2号の4（第5条関係）

中小企業要件確認書（移住・就業支援金の申請用）

署名（自署）又は記名押印。
記名押印の場合は、ゴム印
（シャチハタ等）不可

〇〇年〇月〇日

磐田市長 様

所在地 静岡県〇〇市△△××〇号
事業所名 株式会社〇△□
代表者名 〇〇 〇〇
電話番号 △△-△△△△-△△△△
担当者 〇〇 〇〇

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

官公庁等（第三セクターのうち、出資金が10億円未満の法人又は地方公共団体から補助を受けている法人を除く。）でないこと。	左の要件を満たす。	左の要件を満たさない。
資本金10億円以上の営利を目的とする私企業ではないこと。	左の要件を満たす。	左の要件を満たさない。
みなし大企業ではないこと（※1）。	左の要件を満たす。	左の要件を満たさない。
本店所在地が東京圏（※2）のうち条件不利地域（※3）以外の地域にある法人（勤務地限定型社員（東京圏以外の地域又は東京圏内の条件不利地域を勤務地とする場合に限る。）を採用する法人を除く。）ではないこと。	左の要件を満たす。	左の要件を満たさない。
雇用保険の適用事業主であること。	左の要件を満たす。	左の要件を満たさない。
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に定める風俗営業者でないこと。	左の要件を満たす。	左の要件を満たさない。
暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する者でないこと。	左の要件を満たす。	左の要件を満たさない。

【備考】

※1 本事業に係る「みなし大企業」は、以下のいずれかに該当する法人とする。

- ・発行済株式の総数又は出資価格の総額の2分の1以上を同一の資本金10億円以上の法人が所有している資本金10億円未満の法人
- ・発行済株式の総数又は出資価格の総額の3分の2以上を資本金10億円以上の法人が所有している資本金10億円未満の法人
- ・資本金10億円以上の法人の役員又は職員を兼ねている者が、役員総数の2分の1以上を占めている資本金10億円未満の法人

※2 東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県

様式第2号の5（第5条関係）

就労体験証明書（移住・就業支援金の申請用）

磐田市長 様

署名（自署）又は記名押印。
記名押印の場合は、ゴム印
（シャチハタ等）不可

〇〇年〇月〇日

所在地 静岡県〇〇市△△××〇号
事業所名 株式会社〇△□
代表者名 〇〇 〇〇
電話番号 △△-△△△△-△△△△
担当者 〇〇 〇〇

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

就労体験者名	磐田 太郎
就労体験者住所	磐田市国府台3番地1
就労体験先所在地	静岡県〇〇市△△××〇号
就労体験先電話番号	△△-△△△△-△△△△
就労体験年月日	2020年 7月 1日 から 2020年 7月14日 まで
就労体験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・接客業務 ・機械操作 ・デスクワーク ・会場設営 等

備考 移住・就業支援金に関する事務補助金の交付申請に関する事務のため、就労体験者の情報を、静岡県及び磐田市の求めに応じて、同県及び同市に提供することについて、就労体験者の同意を得ています。

様式第3号（第5条関係）

口座振込依頼書

磐田市長 様

署名（自署）又は記名押印。
記名押印の場合は、ゴム印
（シャチハタ等）不可

〇〇年〇月〇日

住所 磐田市国府台3番地1
氏名 磐田 太郎
電話番号 054-221-〇〇〇〇

下記のとおり移住・就業支援金の口座振込を依頼します。

振込先金融機関	銀行 ふじのくに 金庫 農協	店 県庁 出張所 所
預金種別	普通預金	
預金口座番号	1 2 3 4 5	
フリガナ	イワタ タロウ	
口座名義人	磐田 太郎	

記入例

様式第5号（第8条関係）

移住・就業支援金交付決定通知書再交付願

〇〇年〇月〇日

磐田市長 様

移住・就業支援金交付決定通知書を再交付願います。

署名（自署）又は記名押印。
記名押印の場合は、ゴム印
（シャチハタ等）不可

フリガナ	イワタ タロウ	生年月日
氏名	磐田 太郎 ▲	西暦1977年7月〇日
住所	〒438-8650 磐田市国府台3番地1	電話 番号 054-221-〇〇〇〇
再交付理由	〇〇のため	
通知書の 利用目的	フラット35地域活性化型（地方移住支援）の金利引下げの適用 を受けるため	

（注） 本再交付願に加え、返信用封筒（84円切手を貼付の上、上記記載の郵便番号、住所及び氏名を記入）を提出してください。